



# 地鶏のNo.1ブランド 「名古屋コーチン」の改良



肉用名古屋コーチン



卵用名古屋コーチン

（養鶏研究所、畜産研究部開発）

## 背景

名古屋コーチンは、旧尾張藩士の海部兄弟によって育成された国産の実用鶏です。名古屋コーチンは、数ある地鶏の中でも唯一純粋種のまま生産・流通しており、その品質は高く評価されています。

名古屋コーチンは、外国鶏の輸入自由化によって一時その活躍の場を失っていましたが、1970年代に以前から定評のあった肉質の良さを活かした高品質肉用鶏として復活し、全国の地鶏ブームの先駆けとなりました。

## 成果の内容

試験場では、高い生産性を持った大型の肉用系統を開発し（1983年、1992年）、2005年にはこれらの系統を用い全国で年間117万羽が生産されました。さらに、2000年には卵用名古屋コーチンを開発しました。濃厚でコクのある卵黄とサクラ色の特徴のある殻を持つ名古屋コーチン卵の評価は高く、現在、通常の家消費だけでなく洋菓子等の加工品にも利用されています。

## 愛知県農業への貢献

試験場で開発した系統を利用することにより、名古屋コーチンは、肉質や味のよい国内で最も知名度の高い地鶏の一つとなっています。また品種改良とともに名古屋コーチンに適した効率的な飼養方法の開発を進めることで、県内ブランド維持に貢献しています。

（畜産研究部）